

市では、本年を行田の「観光元年」と位置付け、今年1月に発足した、一般社団法人行田おもてなし観光局と協働で、より一層の観光振興を図っていきます。

現在、市内外から注目を集めている花手水はなぢょうすいの磨き上げなどを通じ、本市の代表的観光資源である忍城や埼玉古墳群、古代蓮を含めたブランドディングを一層推進していきます。



# 行田「観光元年」

新型コロナウイルス感染症の影響により、気分が沈みがちな日々の中、「参拝に訪れる方に癒しを」と昨年4月から行田八幡神社で花手水が飾られました。

この取り組みは、前玉神社さきたまにも広がり、さらに市内の商店や民家の軒先でも実施されるようになりました。このような背景から、今では花手水を飾る「花手水week」が毎月1日〜14日（11月と1月は15日〜末日）の期間で行われています。

そして、今年4月からは「希望の光」をテーマに、花手水のライトアップイベントが月1回開催されています。日没から午後8時まで、行田八幡神社や忍城址、両スポット間の店舗の軒先などに設置された花手水の手水鉢が水の中から照らされ、幻想的な風景を醸し出します。



## 観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」として リニューアルオープン！

4月1日から、一般社団法人行田おもてなし観光局が、行田市観光協会の業務を引き継ぎ、観光案内をはじめ、観光イベントの企画、実施などを行っています。

これに伴い、商工センター1階観光情報館「ぶらっと♪ぎょうだ」も観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」として、リニューアルオープンしました。オープン前には、石井市長と同観光局理事長・細井保雄さんによるテープカットセレモニーが行われました。酒類販売業免許を取得し、酒造会社を含め新規出店も増やしたことで、商品の品ぞろえが充実しました。現在、市内約50事業者の商品を取り扱っています。

今後、この施設は、同観光局が、JＲ行田駅前観光案内所および忍城バスターミナル観光案内所と一体的に運営していきます。



一般社団法人行田おもてなし観光局は、3月31日付けで国土交通省観光庁から県内で5例目となる「候補DMO法人」の登録を受けました。これを機に、県および国と一層連携を図りながら、市と協働で市内の観光資源を生かし、地域活性化を図っていきます。

さらに、4月1日には、市内および隣接地域を目的地とした観光商品の企画・販売を行うことができる地域限定旅行業の登録も受けたことから、今後は着地型観光を推進し、受け入れ側の視点で、本市の魅力発信を行っていきます。

▼問い合わせ 商工観光課（内線375）